

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第9号 学校支援地域本部版

2017. 12. 26 発行：千葉県 地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、「地域学校協働活動」を推進しています。「地域学校協働活動」では、これまでの学習支援や環境整備などの地域住民による学校支援活動に加えて、学びによるまちづくり、地域人材育成、児童生徒の地域行事・ボランティア活動への参加などの発展的な活動が求められます。「地域学校協働活動」において、学校と地域との連絡調整、ボランティアの確保、活動の企画・調整を行う重要な役割を担うのがコーディネーターです。本号では、コーディネーターの取組や各地域の特色・魅力ある活動について紹介します。

コーディネーターQ&A “実践から学ぶ”

今回は、野田市福田中学校区学校支援地域本部のコーディネーター
川崎貴志さんにお聞きしました。



川崎 貴志さん 【プロフィール】

鹿児島県出身、東京理科大学工学部建築科卒、4年半のサラリーマン生活後、1991年より学習塾・パソコン教室の寺子屋道真の塾長。幼稚園・小・中学校・高校とPTA役員をフルコースで経験、青少年相談員や少年警察ボランティアの経験も。キャリア教育コーディネーター

Q. コーディネーターはどんな仕事をしていますか？

A. 「学校と地域を結ぶパイプ役」として、主に3つの仕事をしています。

一つ目は、**支援のニーズを聞き取る**ことです。忙しい先生方から支援のニーズを聞くコツは、朝の打ち合わせや節目の会合などに参加させてもらい、**顔を覚えてもらう**ことが大切です。また、手間はかかりますが、企画リストやDVDなどを渡して活動を宣伝することも効果がありました。

二つ目は、**ボランティア集め**です。学区の自治会や団体をお願いして、回覧に図書ボランティアの募集を折り込んだり、**会報紙に募集記事**を入れてもらったりしました。必要な人材を「芋づる式」で紹介してもらおううちに自然と人材の輪が広がっていきました。また、**公民館と連携**してカーペンターボランティア（施設の修繕）、グリーンボランティア、図書ボランティアの養成講座も行っています。

三つ目は、**外部人材を活用した活動の調整**です。活動に向けて、日程調整や準備するもの等を確認していきます。とくに、キャリア教育の特別授業では、**子供たちが興味関心**をもって参加できるように、講師の仕事にちなんだ小物を持参してもらい経験談を披露してもらうようにリクエストするようにしています。

これらの仕事をする上で、ただつなぐだけではなく、子供たちのために、「より良い形に調整してつなぐ」ことが重要であると考えています。



Q. 学校やボランティアさんとの連絡調整で心がけていることはありますか？

A. 学校の学習活動なので、学習指導要領にマッチする形に調整することを心がけています。

また、活動の計画や各関係者とのやりとりでは、**安全面、個人情報や言葉遣い、思想や信条**などに配慮しています。そして、活動の時間や時期、内容を工夫し、**お互いにメリット**がある形に調整することを心がけています。



Q. 今後に向けての抱負は？

A. これからも、「無理なく・楽しく・長続き」「金がないなら知恵を出せ！」

「例年通りはダメよ、工夫して！」をモットーに、子供や先生、ボランティア、みんなが笑顔になれるよう取り組んでいきます。



地域の特色・魅力ある活動の紹介



各地域の学校支援地域本部では、「地域学校協働活動」として国がガイドラインで例示している「地域にあった特色・魅力ある活動」が実施されています。今回は、睦沢町、市川市、酒々井町の取組を紹介します。

～地域人材育成・郷土学習～

睦沢町学校支援地域本部（睦沢町）

地域の絆でみんなで子育て！

「睦沢町学校支援地域本部」では、地域の方々の協力を得て、本の読み聞かせ、稲作体験、学校内の環境整備、登下校の安全指導などの活動を行っています。

とくに、稲作体験は、土睦小学校、瑞沢小学校と東京都新宿区の花園小学校との交流事業として平成21年度から行われています。地域の米作りの達人である山田会（地域ボランティア団体）の協力により、田植えや稲刈りを行ったり、収穫した米でお寿司を作ったりして、地域の産業について学ぶ機会となっています。



今年も豊作だ！！

～地域行事への参加～

第八中学校区コミュニティサポート委員会（市川市）

地域で育て、地域で活躍する人材の育成

「第八中学校区コミュニティサポート委員会」では、地域の方々の協力を得て、書写の授業補助、学校内の環境整備、登下校の安全指導、地域行事への参加などの活動を行っています。

地域行事の地元コミュニティクラブ主催の「お化け屋敷」イベントでは、小中学生がボランティアとして参加しました。会場設営、お化け役、案内などの運営を通して、子供たちが地域の方々と触れ合い活動する中で、お互いが学び合う機会、子供たちが地域のために何ができるかを考えるきっかけとなっています。



子供たちがお化け役ボランティアとして活躍

～学びによるまちづくり～

酒々井小学校支援地域本部（酒々井町）

未来を担う子供たちに町の魅力を！

「酒々井小学校支援地域本部」では、地域の方々の協力を得て、家庭科（ミシン）や図工（のこぎり）の授業補助、ミニトマトの苗植え補助、落語教室などの活動を行っています。

また、酒々井町では、真夏の夜、たくさんのヘイケボタルを見ることができ、酒々井小学校では、蛍の保護等を行っている「蛍の里を守ろう会」と連携し、総合的な学習の時間の一環として蛍の観察をしています。このような郷土学習を通じて、子供たちは身近な自然に興味を持ち環境保全の大切さや郷土の素晴らしさを学んでいます。「蛍の里を守ろう会」の皆さんも、未来を担う子供たちに、町の魅力を伝える楽しさを感じています。



蛍は、きれいな水が好きなんだね♡

* 次回は、各地域の特色・魅力ある「放課後子供教室」の活動を紹介します。